様式 3-2

公　開　文　書

研究課題名 （研究番号 729）	SGA を伴う新生児慢性肺疾患患者の病態解明を目的とした胸部 CT 画像の 3 次元画像解析を用いた肺容積に関する後方視的研究
当院の研究 責任者（所属）	南谷　曜平（新生児内科）
他の研究機関 および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	新生児慢性肺疾患（以下、CLD）は早産児特有の呼吸器合併症で、重症 CLD は長期的な呼吸予後および神経学的予後の悪化との関連が報告されています。2023 年に改定された CLD の新病型分類（厚生労働科学研究班分類 2023）では、small for gestational age (SGA; 出生体重が 10 パーセンタイル未満)が CLD 重症化のリスク因子として新たに追加されました。これは、近年の複数の観察研究で SGA と重症 CLD との関連が報告されていることに基づいています。一部の研究では SGA による肺発育不良が CLD 悪化の原因と推測されていますが、SGA が CLD を重症化させるメカニズムに関する研究は限られておりその病態は明らかではありません。 本研究では、当院 NICU 退院前に胸部 CT 検査を受けた早産児のデータから 3 次元画像解析ソフトを用いて後方視的に肺容積を測定し、SGA を伴う CLD 児の肺容積と CLD の重症度との関連を評価することを目的としています。本研究結果は、早産児の CLD の病態解明や治療法を確立する一助となり、児の合併症なき生存と良好な発達・発育に貢献する可能性があります。

調査データ 該当期間	2023 年 1 月から 2024 年 12 月に出生した在胎期間 32 週未満の早産児で、当院 NICU に入院して修正 36 週から 44 週に胸部 CT 検査を受けた方を対象とします。
研究の方法	電子カルテより対象となる患者さんの診療情報を収集して解析を行います。
個人情報の 取扱い	研究で利用する情報には氏名や住所等の個人を特定し得る情報は含みません。研究成果を論文として発表する場合にも、個人を特定できる情報は一切公表しません。
本研究の資金源 （利益相反）	ありません。
お問い合わせ先	熊本市民病院　新生児内科　南谷　曜平 電話番号：096-365-1711
備　　考	なし